



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2020～2021年度 RI会長 ホルガー・クナーケ
RIテーマ ロータリーは機会の扉を開く

クラブテーマ「思いはひとつ」

会長 加藤正幸

副会長 米山晴敏 幹事 服部光弥

第1478回例会

2021.6.11(金)晴

司会 田村康晃君
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 加藤正幸君



またまたゴルフファンにうれしいニュースが入ってきました。笹生優花選手が全米女子オープン優勝！それも日本人同士のプレーオフ、畑岡選手との戦いでした。このような戦いになるとは想像もできない事でした。

笹生選手は史上最年少19歳での優勝になりました。日本人のお父さん・フィリピン人のお母さん、今現在は2つの国籍を持っていて、ただ22歳までにはどちらかの国籍を選ばなくてはならない。今回のオリンピックではフィリピン代表で戦うようです。

昨年からジャンボ尾崎邸で練習を行っていた。尾崎選手は笹生選手の今回の優勝は彼女が育ってきたつらい環境をバネにした「なにくそ精神」の賜物であると話していました。

それと世界のスター選手は皆チャリティーをしているという事を受け彼女がチャリティートーナメント優勝賞金250万を品川にある病院の医療従事者支援の為に寄付をした。また、フィリピンではアマチュア時代のアジア大会での優勝賞金2190万をフィリピンのゴルフ協会に寄付した。

まだ19歳という彼女の心意気を感じた。

彼女のアイアンクラブヘッド手造りをしている、兵庫の三浦技研オーナーも同社に訪問している彼女が年始の挨拶を欠かさず礼儀も正しい選手。

「こんなに早くメジャー大会を制するとは」と感心している。こんな人柄の笹生選手、是非日本の国籍を取ってもらい活躍してもらいたいものです。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

高橋大輔さん(藤川君・田村君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	27/33	81.82%	28/33	84.85%
今回	19/32	59.38%	会員総数	33名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、大村君、小島君、小林君、杉山君、篠木君、田中君、土屋君、中本君、宮澤君、矢岸君、山口(雅)君、渡邊君
(*出席免除会員の欠席者 山本君)

おめでとう

会員誕生日

6月4日 伊丹雅治君



幹事報告

幹事 服部光弥君

本年度の例会も残すところあと2回となりました。3月第4例会から休会することなく続けて参りましたが、皆さまにはこれからも健康にご留意していただきたいと思えます。

山田定男君

せせらぎ三島ロータリークラブに入会して早23年が過ぎました。ロータリー入会以前は三島ワイズメンズクラブに8年在籍しておりまして、今は卒業された大房様、歯科医の太田様もワイズで一緒しました。

ロータリーでの23年中、一番長く継続してまいりましたが、自転車財団にご協力いただきタイ国の子供たちに持ち主不明の放置自転車を送る国際奉仕事業です。3年前まで10年余りに渡り、7500台程の自転車を届けることができました。タイ国での思い出は沢山あり、思い出すと幸せな気持ちになります。

さて、私の自己紹介です。私は三島市泉町で生まれ、6歳より清水町で育ちました。最終学歴は田方農業高等学校食品化学科です。卒業以降、現在の会社(サント・サーフェイス(株))にて事業を行っております。事業内容は工業部品の表面改質加工です。独自の技術により、部品表面の特性を変化させて部品の性能を向上させる仕事です。自動車関係やOA・PC機器、ICチップ、外食業向け厨房機器の部品や産業用ロボット部品など、幅広い分野において表面改質は製品の性能向上に欠かせない分野でございますので、国内産業がある限り、この仕事は将来も続くと思ひ、日々頑張っています。



スマイルボックス

加藤正幸君:会長挨拶、毎回話す内容に悩みながら1年間やってきましたが、あと3回になりました。いろいろな情報に目配りをする癖がついた事が勉強になりました。会長職に感謝!

山田定男君:本日卓話です。話がトビトビになるとと思います。よろしくをお願いします。

遠藤修弘君:トマトジュースのおかげで血圧が下がりました。また良い事に少しやせました。あたためたトマトジュース、ダブルでできています。米山さん、加藤さん、アドバイスありがとうございました。

服部光弥君:明日12日、山田小学校で開催するウォークラリーイベントにご協力いただける皆様、ありがとうございます。朝8時半に山田小学校までお越しください。

伊丹雅治君:自民党静岡県連の青年局長になりました。静岡県知事選も岩井しげき押しで頑張ります!

原兄多君:このたび三島田方法人会青年部会の部会長を拝命しました。2年間頑張ります。

石井和郎君:暑いですね、スマイルします。

中山和雄君:今年度もあと2回の例会で終わりですね。加藤会長、服部幹事、大変な1年でした。お疲れ様でした。

ROTARY NEWS

会員の多様な経験が生かされた、イタリアでのワクチン接種キャンペーン

リカルド・デ・パオラさんは、イタリアにおける新型コロナワクチンの供給増加に伴い、予防接種会場での接種活動とスタッフ管理を求める多くの声がかかることを見越していました。彼はベロナ地域で働く医長たちと連絡をとり、クラブがどのように支援できるか聞き取りを始め、政府パートナーとなれるボランティアの動員に取りかかりました。

デ・パオラさんはイタリア第2060地区のパスガバナーです。2020年後半に多くの医長と相談し、ワクチン接種会場を設置・運営するボランティアの圧倒的な必要性を把握しました。そこで現地区ガバナーであるディエゴ・ヴィアネロさんと共に、地区内91クラブからボランティアを募りました。

「私たち会員は、さまざまな職業を通じて多様な専門知識や経験を積んでいますから、それらをあらゆる場面で最大限に役立ててもらいたいのです」と、デ・パオラさんは語ります。そして彼は、2020年6月、コロナウイルス関連の奉仕を主な目的として掲げる、Marco Polo Passport D2060ロータリークラブの創立会員となりました。

2021年1月のボランティア募集の呼びかけから一週間、150名以上のロータリアンとローターアクターから申し出がありました。現役または引退した医師や看護師、それに救急隊員などが含まれます。これらボランティアは、ワクチン接種を受け、都市ごとに異なる実施要綱を学びました。

ボランティアの何名かはワクチン管理のために保険に加入しました。デ・パオラさんとヴィアネロさんは保険業者と協力して、引退した医師4名への補償を整えました。同じ各市町村とボランティア間の同意事項を見直すための弁護士会の有志グループを作り、必要に応じて法的支援が行えるようにしました。

「会員の中には保険証書や各種書類を承認できる公証人もい

た。私たちは単なるボランティアではありません。自分たちが活動している企業・団体やそのリソース、そしてこれまでに積み上げてきた経験をすべて生かして信頼を築いています」

会員は4つのグループに分けられ、午前と午後のシフトを担当し、患者のデータ入力やボランティアの調整を行いました。また、資格を有している人はワクチン接種も行いました。

迅速で効率良いボランティアの働きを見て、現地医療当局は、地域内すべての新型コロナワクチン接種のスケジューリング、シフト調整、情報整理、報告を含むボランティア担当分野にロータリー地区を据えつけた。

デ・パオラさんによると、その後には地元衛生当局の責任者により、ワクチン接種数の増加と目標達成におけるロータリーの活躍が認められ、称賛を受けたとのこと。

「タスクフォースのボランティアの名簿は400名を超えました。活動時間は数千時間となり、100,000名を超す地域住人がワクチン接種を受けました」とデ・パオラさん。ロックダウンの解除によって、この数はさらに増えることが期待されます。

この活動は現在、イタリアの全地区で採用されています。デ・パオラさんとヴィアネロさんは、この活動が今後の先駆けとなるよう、ロータリーの「End Polio Now」(こころい)、 「WE STOP COVID」(新型コロナ阻止)を提唱しました。ワクチン接種会場で活動するボランティアは、ロータリー会員ではなくても、このバッジとピンを付けています。

この歴史的な活動は、ロータリーに対する国民の認識向上にもつながったと、ヴィアネロさんは語ります。

「地域社会は今、ロータリーが送ってきたインパクトを目の当たりにしています。これが、ロータリークラブの新たな力となるでしょう」